

**市議会議員 (小倉北区)**

**出口しげのぶ**

文化芸術を守る！  
ジャズドラマー市議

市政アンケート  
ご協力ください  
スマートフォンから  
簡単にできます

**日本共産党**

【でぐち・しげのぶプロフィール】

- 1960年6月29日、小倉生まれ。● 東筑紫幼稚園、南小倉小・中、戸畑高校卒。● 中学からドラム演奏、プロのジャズドラマーとして活動。● 市議会議員1期。市議会の総務財政委員会に所属。● 趣味は登山・バドミントン。

出口市議の活動地域は  
**紫川西側**  
東側は  
大石正信元市議

**コロナ危機のりこえ新しい政治を**

皆さんの力で市議会に送っていただき、無我夢中で取り組んできました。

今期、私がおつとも力を入れてきたのは、市民の皆さんからの生活相談でした。

特にコロナで生活が一変したというかたが多く、「収入がとだえた」「給付金が受けられない」という相談が相次ぎました。一件一件真剣に解決にとりくむとともに、市政を変えるために全力をあげてきました。

北九州市は自民党・安倍政権の言いなりで保健所の数を減らし、公立病院をリストラしてきました。コロナ危機で医療や公衆衛生の脆さがあらわになりました。「こんな政治でいいのか」という声が広がっており、力を合わせ全力で変えていこうと決意しています。引き続き、市政で私を働かせてください。

感想は☎941-6655

**出口しげのぶ**  
**を引き続き市政へ**

この3つの仕事にとりくませてください！

**1 PCR検査や保健所体制など  
コロナ対策の抜本強化**

**日本共産党**

北九州市は保健所や市立病院をリストラし、感染症に非常に弱い市政になっています。コロナ感染の次の波がきたときに備え、PCR検査体制を10倍に引き上げ、保健所の体制の増強、自粛のさいの補償の充実など、対策を強めます。

**2 高齢者福祉乗車券  
をつくります**

生活の足を確保します

北九州市の高齢化率は政令市のなかでトップです。福岡市などでやっているように、JR・バス・タクシーなどに乗るときに交通費を補助してくれる券をつくらせます。

**3 返さなくていい  
市独自の奨学金を**

若い人を応援します

今の学生の半分は、「奨学金」を借り、平均320万円も借金を負っています。社会人への門出にこんな重荷を背負わせる社会は異常ではないでしょうか。市独自の返済不要の奨学金をつくり、若者を応援します。

**3500億円の  
下北道路をやめて  
コロナ対策に回せ**

「村度道路」「安倍麻生道路」の悪名を馳せた、必要のない下関北九州道路（第二関門橋）計画。  
コロナへの対策が急がれるのに、いま3500億円もかけてこんな計画を推進すべきではありません。

**子育て支援  
日本一に**

高校卒業まで  
医療費無料に

県は助成を拡大しましたが、それに上乗せし、市独自に高校卒業まで広げるとともに、窓口負担をなくして完全無料にします。約2億7000万円の予算があれば可能です。「子育て支援日本一」と真に言える北九州市にします。



## 地域の声を市議会へ

### ごみ袋値下げを

ごみ袋代は市民の大きな負担になっています。出口市議は「ごみの減量の実現しており、その分市民に還元して値下げをすべきだ」と市長に迫りました。

### がけ崩れ復旧

2017年の豪雨で崩れた板櫃川沿いの崖が復旧されないうままです。出口市議は質問で対策を要求し、県が予算を付けて立派な擁壁工事が行われ、安全に通行できるようになりました。

### 公園トイレ洋式化

「膝が悪くてどうにかして」——この相談を受け、公園のトイレを和式から洋式にするよう議会で要求。

市長は「まずは便器の取り替えを行う」と答弁。市は自治会にアンケートを行うなどして新たに予算がつき、洋式化が進みました。



高校生にアンケートをとる出口市議

中学生が学校帰りや休日に気軽にたちよれる「居場所」となる施設「ユースステーション」が黒崎にあります。

出口市議は、中学生にアンケートを行い、「小倉であれば利用する」と答えた若

者が9割にのぼったことを議会で紹介。各区への設置を求めました。

市長は「検討する」と答弁し、その後、他の会派からも要望が上がりました。

**設置へむげがんばります。**

出口市議の質問後

### 学生支援金の実現！

高学費のもとコロナでアルバイト収入が絶えた学生への支援を議会で要求。北九州市立大学の全学生に「学修環境整備支援金」として一律1万円給付することになりました。

### 障がい者の気持ちわかってくれる

声帯を摘出した 福田登茂樹さん



喉頭がんなどで声帯を摘出した人のために、「シャント発声法」がありますが、維持費にお金がかかります。出口議員に相談したところ、議会で市に助成を求めてくれました。障がい者の気持ちをわかってくれてありがとう。

## 若者支援 声あつめ質問 ユースステーションを各区に

新型コロナで売上が激減する商店・事業所から相談があいつぎました。

特に国の持続化給付金は申請手続きが煩雑で、あきらめている事業者のかたが少なくありませんでした。

出口しげのぶ市議は積極的に

的な相談活動を展開。洋品店を営む高齢の女性は「持続化給付金の手続きがよくわからん」とあきらめていましたが、出口市議が相談にのり100万円が給付。「出口さんのおかげだ」と涙を流して喜ばれました。

出口市議と林さん



音楽家の心がわかってくれる人  
ジャズストリート52  
オーナー(写真右)  
林直樹さん

コロナで苦しみ文化・芸術の問題を議会で正面から取り上げてくれたのは、出口議員だけでした。ジャズミュージシャンとして、私とも長い付き合い。文化・音楽活動を理解してくれる心強い人で、応援したくなる議員です。

また、ジャズドラマーである出口市議は、コロナで休業するライブハウスなどを訪ね、その声をもとに支援を訴える質問を市議会で行いました。

## コロナ対策

## 商店やライブハウスの支援に奔走

### 「共同墓地の安全を」私たちの声を議会で取り上げてくれた

今町在住 新屋福美さん



近くの共同墓地のことで「木が生い茂り、切り立って崖崩れが心配です」と出口さんに相談しました。出口さんは、丸石擁壁の草刈り、枝打ち、崖崩れの防止整備、墓地所有者へ指導などを求め、議会で取り上げてくれました。住民のためにがんばってくれる議員です。応援しております。



# 出口しげのぶ

あなたの声を市政に届けてきました。